

わんぱく学園ニュース

平成24年6月／平成24年7月号 No.158

低い樹木、草のような風情をみせる。その愛らしい葉っぱをたくさんつけた枝は、屋根ふきの材料となったり、煎じてめまいをなおす薬として、広く庶民に知られているとか・・・

中秋の名月ごろが見ごろと言われるが、6月初夏を迎える頃に淡い紅色の花をつける・・・そう・・・萩の花の咲く頃――。

“萩の露 とぞす心の 涙かな”

(花ことばは、柔軟なところ・・・萩の葉に可憐な露が水滴となって落ちていく風情は、まるで、涙が悲しみをぬぐい去るように見えるのです。ここに傷をもった人たちが、この萩の花のように、その閉ざした心を優しく解き放つようになれば・・・という思いで詠みました。)

～土江 和世～

“わんぱく大使館の笑顔”

常賀 信寛 (アートプロジェクトプロデューサー)

人生は、その人の居場所を捜す歩みといえます。それは、苦痛でもあり、喜びでもあります。マザーテレサが、カルカッタで、貧困や、障がい、病ゆえに路上で息を引き取ろうとした人々を、彼女が苦勞して得た施設へ招き入れた時、彼らがいつも口にしたことばは“なぜ、あなたは私のようなものを大切になさるのですか？私には何の価値もないのに・・・”マザーテレサはこう答えました。“なぜなら、あなたは意味あってこの世に生まれてきたのです。あなたは必要とされている人だからです・・・”と。皆が忌み嫌い、避けてきた路上の人々は、そこに初めて“人生の居場所”を見つけたのです。

そして、彼らは、感謝に満ちた涙の中で、安らかな最期を迎えました。多くの人々はそうした彼女の献身的な行為を疑いの目で見、陰で、きっと儲けているはず・・・と冷たい視線を浴びせました。

そこにあるのは、醜い嫉妬、自分が出来ない高尚な行為に対する矮小な自己弁護です。誠に恥ずかしいことです。

人は勝手です。批判だけは、一人前、ならば自分でやればいい・・・のにそういう人に限って口先だけ・・・

果たして、彼らが、ひん死の人々の身体に湧いている“ウジ虫”を取ることが出来るでしょうか？出来る訳がありません。“理念”がないからです。

障がい者を芸術で自立を目指す“アートプロジェクト”のお手伝いをさせていただき、早3年近い歳月が過ぎました。

東京を離れて、一人この地で、新たな挑戦のお手伝いをしてきました。

私が福祉・・・という分野に初めて触れたのは、今から約10年前、全盲のテノール歌手、沖縄出身の新垣 勉を「さとうきび畑」で世に出してからでした。かれは“歌”で人生の居場所を見つけることができました。

でもこうした活動の中で、障がいのある人たちが、その安住の地を見つけることが、いかに不利か、思い知らされました。世間がまともに、彼らを見ず、評価せず、対等に話してくれないのです。

芸術で、安住の地、居場所を見つけるなんて、とても無理・・・といわれてきました。でもどうでしょう・・・

今、素晴らしい才能が、集まっています。世の90%の人は、新しい挑戦を否定します。とってもいいことです。なぜなら、可能性を皆さん放棄してくれるおかげで、逆に可能性が増えるからです。

障がいのある人たちは、日夜、その居場所を捜しています。あちこちを転々としながら・・・その居場所を、もし、“芸術”でできたら、素晴らしいことだとは思いませんか？先日、わんぱく大使館に通っている人たちがこう言っていました。“今まで、どこも私たちと向き合って話したり叱ってもらえませんでした。でも、ここは、違います。平等に向き合ってくれます。ありがとう！”と、かれらの顔は、その居場所を見つけた喜びに輝いていました。そうか・・・私がこの地に来た訳は“この居場所を見つけた彼らの笑顔”に逢うためだったんだ・・・と。

決して私たちはかれらの居場所を奪ってはならないのです。そんな権利など断じてありません。

バンドどりーむのメンバーから

阿部裕久さんへの手紙・・・

阿部さんは、バンドどりーむを音楽・こころの面からずっと支えてくれます。温かな人柄、きらめく才能・・・いつも阿部さんが一緒だと、みんな元気になるんです。

そんな阿部さんが、長い闘病生活を余儀なくされています。
心配したメンバーが、手紙を出そう！・・・ということになったのです。
本当に優しい子どもたち・・・こころが洗われたひと時でした・・・



アンダンテの橘さんとギターで共演している阿部さん
*バンドどりーむの練習風景

あべさんへ

あべさん、最近はずっとびょう院生活でつまらなかつたり車の運転もできなくてギターも持たなくて余計に残念ですね。どりーむのみんなもみんな困っています。あべさんはまたどりーむにも戻れたりギターが持てたり、車の運転もまたなるといいですね。早く、あべさんみんな治るといいですね・・・曾田 亮 阿部裕久様へ

やっぱり阿部さんがおられなくて とてもさみしいです。

今年の9月にあるけんこう福祉フェスタのオープンセレモニーで コンサートすることになりました。その時、できるだけ阿部さんには再び帰ってきて元気な姿ほしいとお待ちしております。・・・長岡良恵

DEAR阿部裕久様

阿部ちゃん具合の方はどうですか。阿部ちゃんのいやしの声はすご〜く大好きです。ギターひいてくださいネ。私もピアノばんそうしますよお。音楽って良いですよネ。元気がでますよネ！！ 阿部さんの作る曲はとても良い曲ばかりでいやされます。また良い曲を作って下さい💡

あべちゃんファイト！！・・・FROM 橘 実華子より

あべさんへ

やっぱり痛いところがあるとしんどい辛いですよネ。でもあべさんの快復を心から祈っています。私も音楽が好きで最近バンドどりーむに入りました。皆といると楽しくて私自身落ち込んでいる時 皆に会うと元気が出ます。

あせらず時間はかかると思いますが あべさんが帰ってくるのを待っています。・・・島田真由美より

あべさんへ

あべさん いけんね・・・。

あべさんとどりーむしたいな 土江 広

■6月&7月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

月 日	内 容
6月 10日(日)	□笹巻きづくり 場所:アトリエ「おちらと」 担当:伊藤敦子、平井敦子、土江和世 材料費:200円 *持ち帰りあり!
6月 17日(日)	□あじさいをみんなで描こう! PART1 場所:わんぱく大使館 担当:高橋 猛、常賀信寛 *画用紙、絵の具類は学園で準備します。
6月 24日(日)	□生活バスで、坂浦の海見に行かない? 集合場所:生活バスセンター(福祉会館の前) 担当:山口恵子、福田稔 バス代:100円(あとは学園が補助) *障がい者手帳がある人は持ってきてくださいね。
7月 8日(日)	□粘土あそび”風鈴つくってみない?” 集合場所:アトリエ「おちらと」 担当:安食ひろ、常賀信寛、土江和世
7月 15日(日)	□ラーメン作って食べない? 場所:アトリエ「おちらと」 担当:田中修、土江和世 *材料費:150円
7月 22日(日)	□あじさいをみんなで描こう! PART2 場所:わんぱく大使館 担当:高橋 猛、常賀信寛 *画用紙、絵の具類は学園で準備します。
7月 29日(日)	□ビーズあそび楽しもう! 場所:アトリエ「おちらと」 担当:平井敦子、土江和世 *材料費:100円準備してね
*8月は休み	*特報! 9月2日(日)ひらた福祉フェスタ参加決定! 場所:平田文化館、福祉館周辺駐車場 ”チャレンジドアート美術展に行ってみない?”

◆集合時間・・・9時50分(特に指定がない限り)

◆集合場所・・・指定場所へ直接

◆問い合わせ・NPO法人サポートセンターどりーむ TEL/FAX:0853-63-4001
携帯:090-7774-5913 メール:sc-dream-kt@sky.plala.or.jp



